

第1章 歯・口腔保健の現状

第1節 千葉県歯・口腔保健計画（H30～R5）の最終評価

前計画で設定した指標の目標値について、達成状況を次の基準で判定しました。

達成状況	基準	達成率
A	現状値が目標に達した	100%以上
B	現状値が目標に達していないが改善傾向にある	5～100%未満
C	現状値が変わらない	±5%未満
D	現状値が悪化している	-5%以下
E	目標設定以後、調査等が実施されていない等の理由で現時点では評価できない	

* 達成率 = (計画策定時の値 - 直近値) / (計画策定時の値 - 目標値) × 100

1 乳幼児のむし歯予防

○ 3歳児でむし歯のない者の割合は増加し、目標を達成しました。

○ 3歳児でむし歯がない者の割合が80%以上である市町村は大きく増加し、目標を達成しました。

指標	計画策定時	目標値	直近値	達成状況
3歳児におけるむし歯のない者の割合の増加	84.0%	90%以上	92.3%	A
3歳児でむし歯がない者の割合が80%以上である市町村の増加	36市町村	54市町村	54市町村	A

【出典】千葉県母子保健事業実績報告（計画策定時：平成28年度、直近値：令和4年度）

2 児童生徒のむし歯予防

○ 12歳児の1人平均むし歯数が減少し、目標を達成しました。

○ 12歳児の1人平均むし歯数が1.0歯未満である市町村は大きく増加しました。

指標	計画策定時	目標値	直近値	達成状況
12歳児における1人平均むし歯数の減少	0.81本	0.6本以下	0.53本	A
12歳児(中1)の1人平均むし歯数が1.0歯未満である市町村の増加	35市町村	54市町村	52市町村	B

【出典】児童生徒定期健康診断結果（計画策定時：平成28年度、直近値：令和3年度）

3 成人及び高齢者の歯周病予防、歯の喪失防止

- 60、70 歳代の 1 人平均現在歯数が増加しました。
- 40、50、60 歳代の進行した歯周炎¹⁾を有する人の割合は、増加傾向にあります。
- 全ての年代で歯間部清掃用器具を使用している者の割合が増加しました。
- 過去 1 年間に歯石²⁾除去や歯面清掃を受けている者の割合が減少しました。
- 過去 1 年間に歯科検診を受けている者の割合が減少しました。
- 喫煙する者の割合が減少しました。

指 標		計画策定時	目標値	直近値	達成状況	出典
80歳以上で20本以上を有する者の割合の増加		34.3%	50%以上	51.6%	A	千葉県生活習慣に関するアンケート調査*
1人平均現在歯数の増加	60歳代	25.8本	27本以上	26.4本	B	市町村歯科健康診査(検診)実績報告書 [†]
	70歳代	23.9本	25本以上	24.5本	B	
60歳代における咀嚼良好者の増加		66.5%	80.0%以上	69.3%	B	千葉県生活習慣に関するアンケート調査*
40歳代で喪失歯のない者の割合の増加		57.9%	75.0%以上	73.6%	B	
進行した歯周炎を有する人の割合の減少	40歳代	45.0%	20%以下	47.5%	D	市町村歯科健康診査(検診)実績報告書 [†]
	50歳代	48.9%	30%以下	52.7%	D	
	60歳代	53.5%	45%以下	56.1%	D	
歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加	20歳代	25.7%	60%以上	38.5%	B	千葉県生活習慣に関するアンケート調査*
	30歳代	35.3%	60%以上	50.0%	B	
	40歳代	42.8%	60%以上	49.6%	B	
	50歳代	48.4%	60%以上	53.6%	B	
	60歳代	51.1%	60%以上	54.2%	B	
過去1年間に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合の増加	20歳以上	53.9%	65%以上	53.0%	D	
過去1年間に歯科検診を受けている者の割合の増加	20歳以上	58.0%	65%以上	57.0%	D	
喫煙する者の割合の減少	成人男性	25.1%	20%以下	21.9%	B	
	成人女性	8.4%	5%以下	6.9%	B	

*千葉県生活習慣に関するアンケート調査（計画策定時：平成 27 年度、直近値：令和 3 年度）

[†]市町村歯科健康診査（検診）実績報告書（計画策定時：平成 28 年度、直近値：令和 4 年度）

4 障害児者

○障害者支援施設及び障害児入所施設における定期的な歯科健診の実施率が減少しました。

指標	計画策定時	目標値	実績値	達成状況	出典
障害者支援施設及び障害児入所施設における定期的な歯科健診の実施率の増加	98%	100%	77%	D	障害福祉事業課調査

障害福祉事業課調査（計画策定時：平成 29 年度、直近値：令和 4 年度）

5 環境・整備

○在宅患者訪問診療（居宅）実施歯科診療所数は、大きく増加しました。

○人口 10 万対の就業歯科衛生士数は、大きく増加しました。

指標	計画策定時	目標値	実績値	達成状況	出典
在宅患者訪問診療（居宅）実施歯科診療所の増加	342箇所	460箇所	433箇所	B	医療施設調査*
就業歯科衛生士数の増加（人口10万対）	79.6	97.6	93.8	B	衛生行政報告例†

*医療施設静態調査：厚生労働省（計画策定時：平成 26 年度、直近値：令和 2 年度）

†衛生行政報告例：厚生労働省（計画策定時：平成 28 年度、直近値：令和 2 年度）

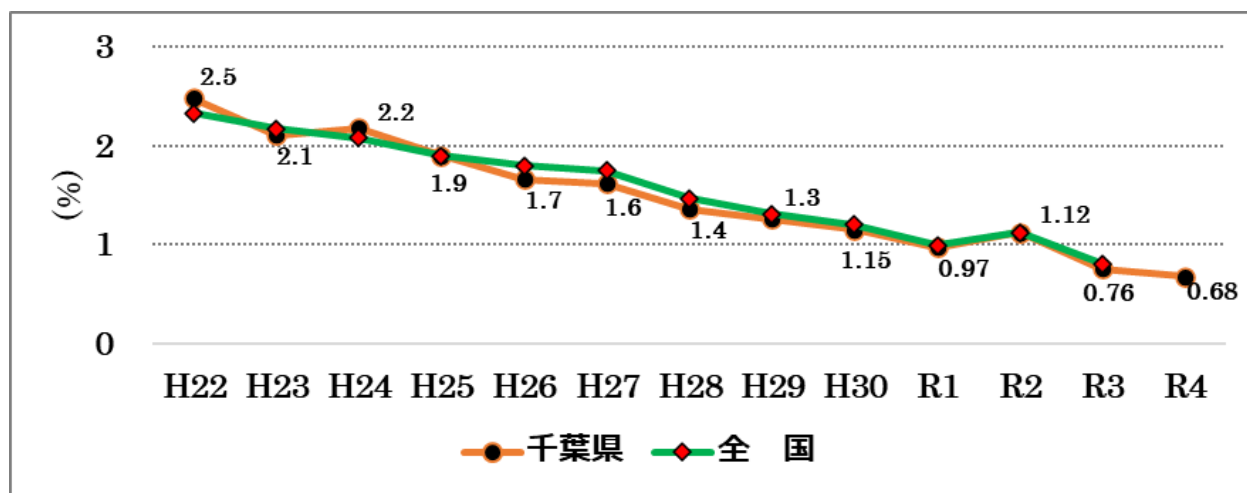
第2節 歯科疾患の状況

1 乳幼児

(1) 1歳6か月児

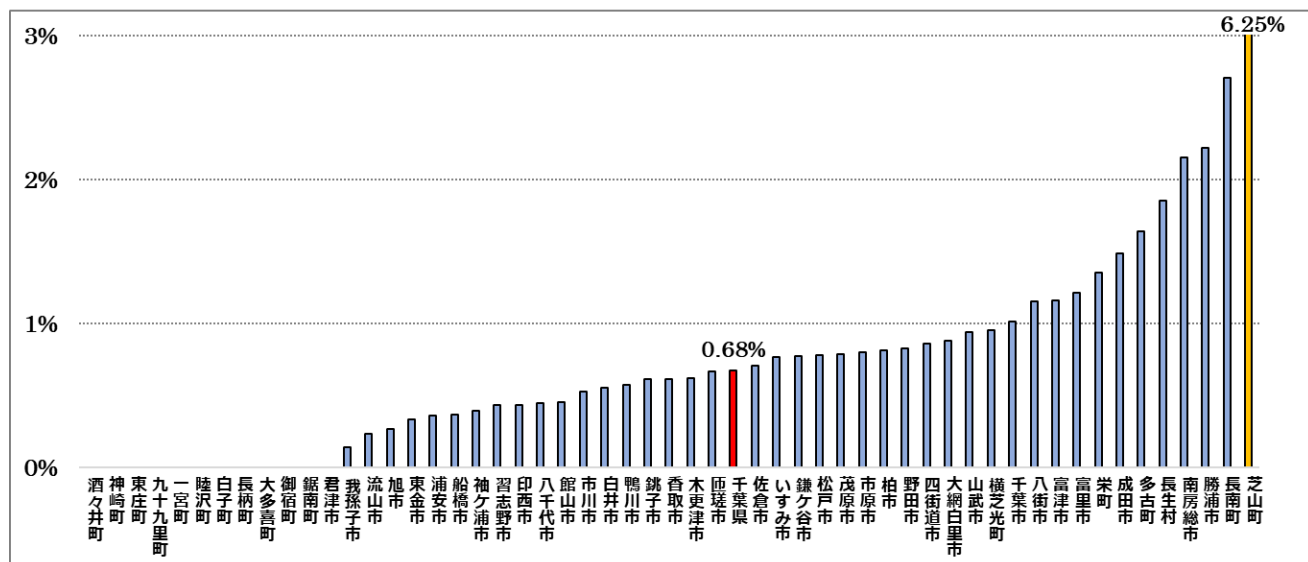
むし歯有病者率は年々減少しています。令和4年度のむし歯有病者率の県平均は0.68%で、最も低い市町村と最も高い市町村との差は6.25ポイントとなっています。

図1 1歳6か月児むし歯有病者率の年次推移



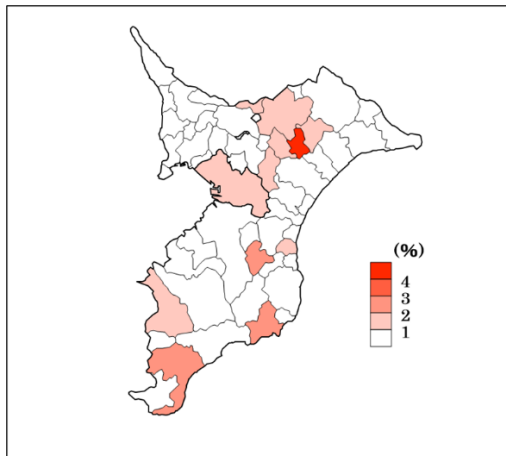
出典：千葉県母子保健事業実績報告、厚生労働省調査

図2 令和4年度市町村別1歳6か月児むし歯有病者率



出典：千葉県母子保健事業実績報告

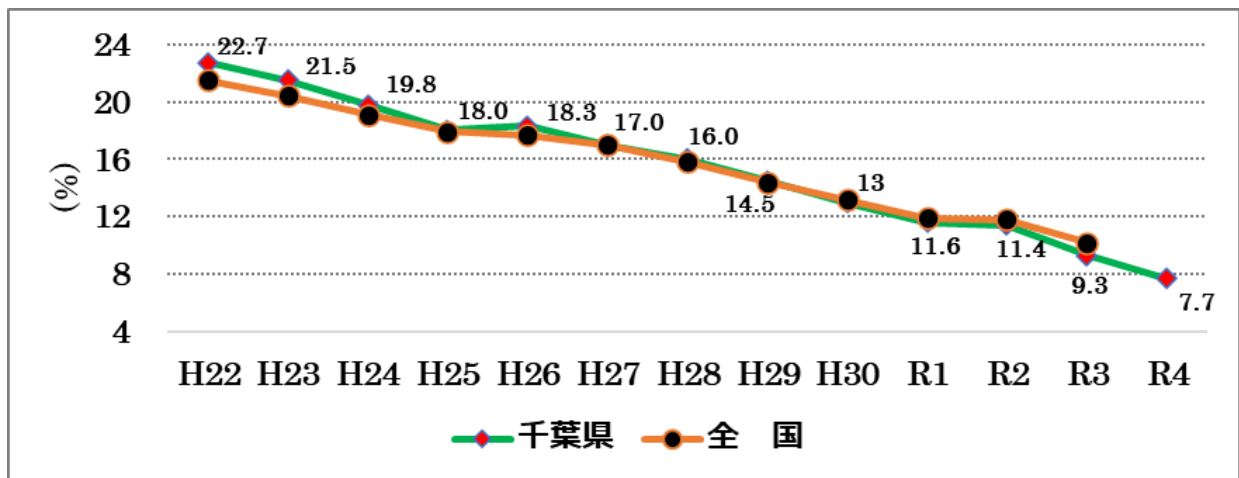
図3 令和4年度市町村別1歳6か月児むし歯有病者率



(2) 3歳児

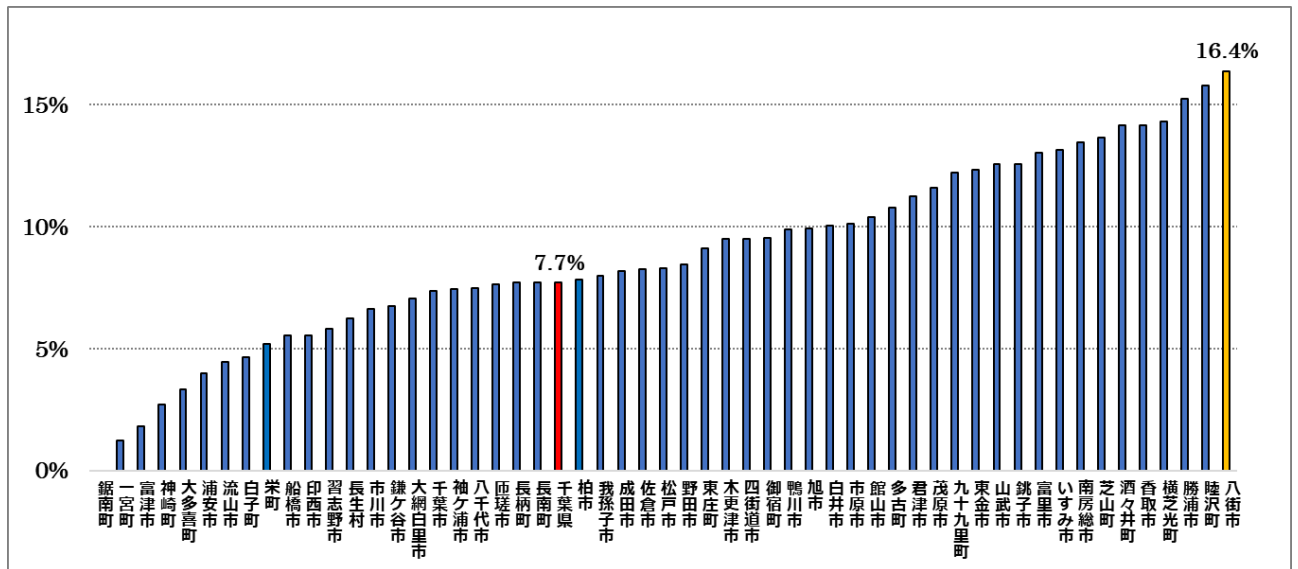
むし歯有病者率は年々減少しています。令和4年度のむし歯有病者率の県平均は7.7%で、最も低い市町村と最も高い市町村との差は16.4ポイントとなっています。

図4 3歳児むし歯有病者率の年次推移



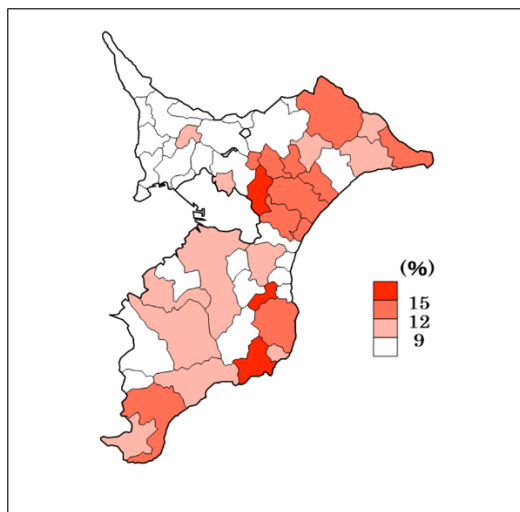
出典：千葉県母子保健事業実績報告、厚生労働省調査

図5 令和4年度市町村別3歳児むし歯有病者率



出典：千葉県母子保健事業実績報告

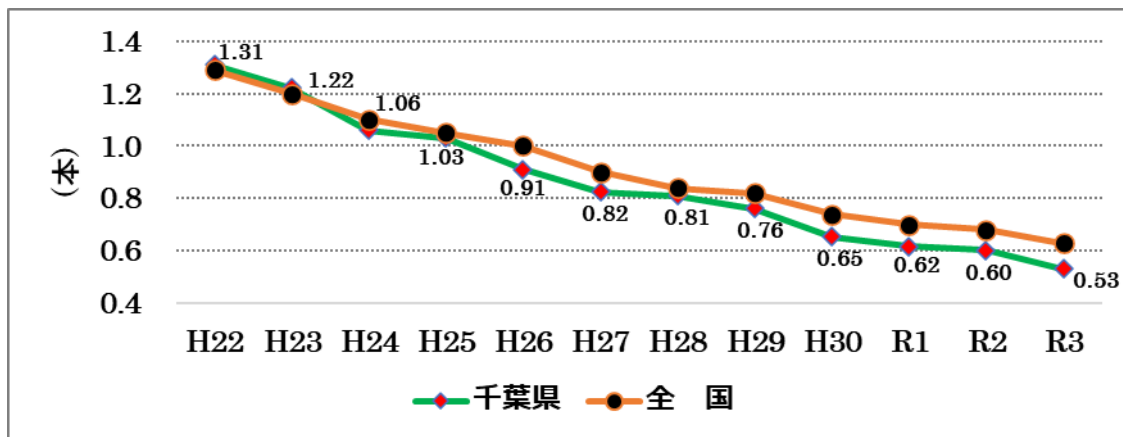
図6 令和4年度市町村別3歳児むし歯有病者率



2 児童生徒

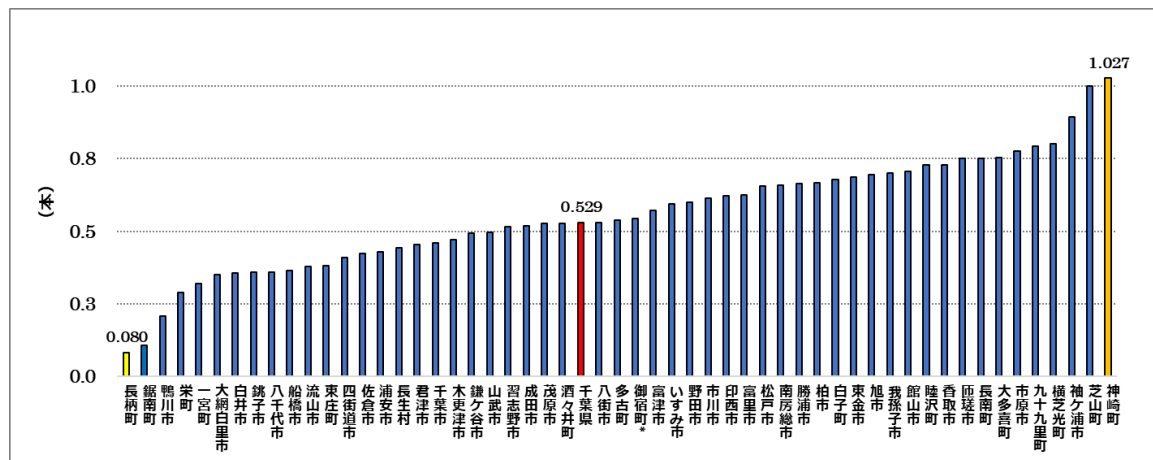
12歳児の1人平均むし歯数は年々減少傾向にあります。令和3年度の1人平均むし歯数の県平均は0.529本で、最も低い市町村と最も高い市町村との差は0.947本となっています。

図7 12歳児（中1）1人平均むし歯数の年次推移



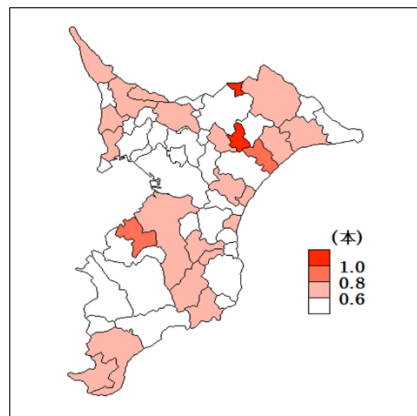
出典：学校保健統計調査結果・千葉県児童生徒定期健康診断結果

図8 令和3年度市町村別12歳児（中1）1人平均むし歯数



出典：千葉県児童生徒定期健康診断結果

図9 令和3年度市町村別12歳児（中1）1人平均むし歯数

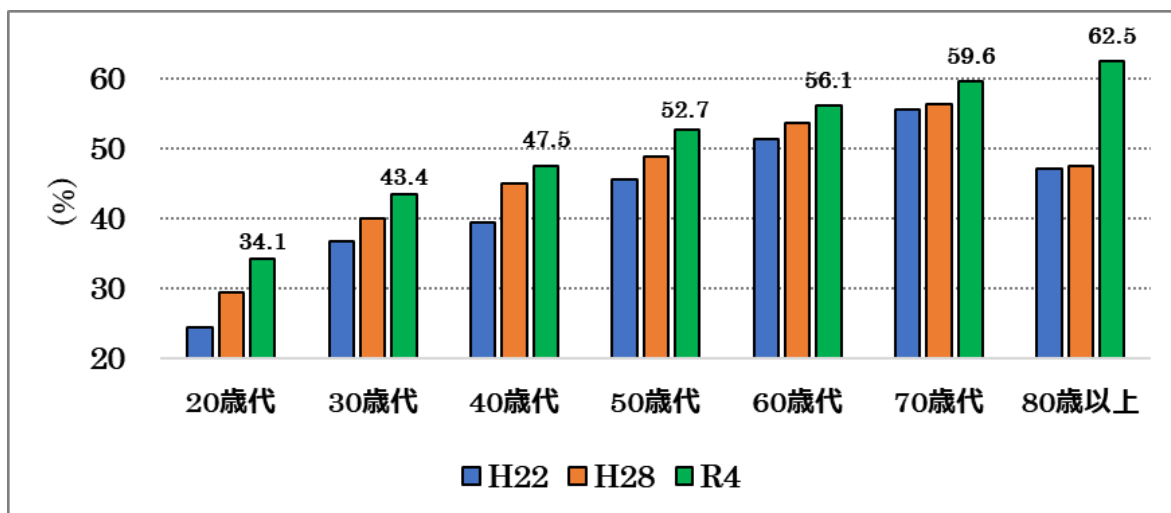


3 成人及び高齢者

(1) 歯周病の状況

令和4年度の進行した歯周炎¹⁾を有する人の割合(CPI³⁾ = 3、4又はPD⁴⁾ = 1、2)は、40歳代が47.5%、50歳代が52.7%、60歳代が56.1%、70歳代が59.6%、80歳以上が62.5%と、年齢とともに増加する傾向にあります。

図10 進行した歯周炎を有する人の割合

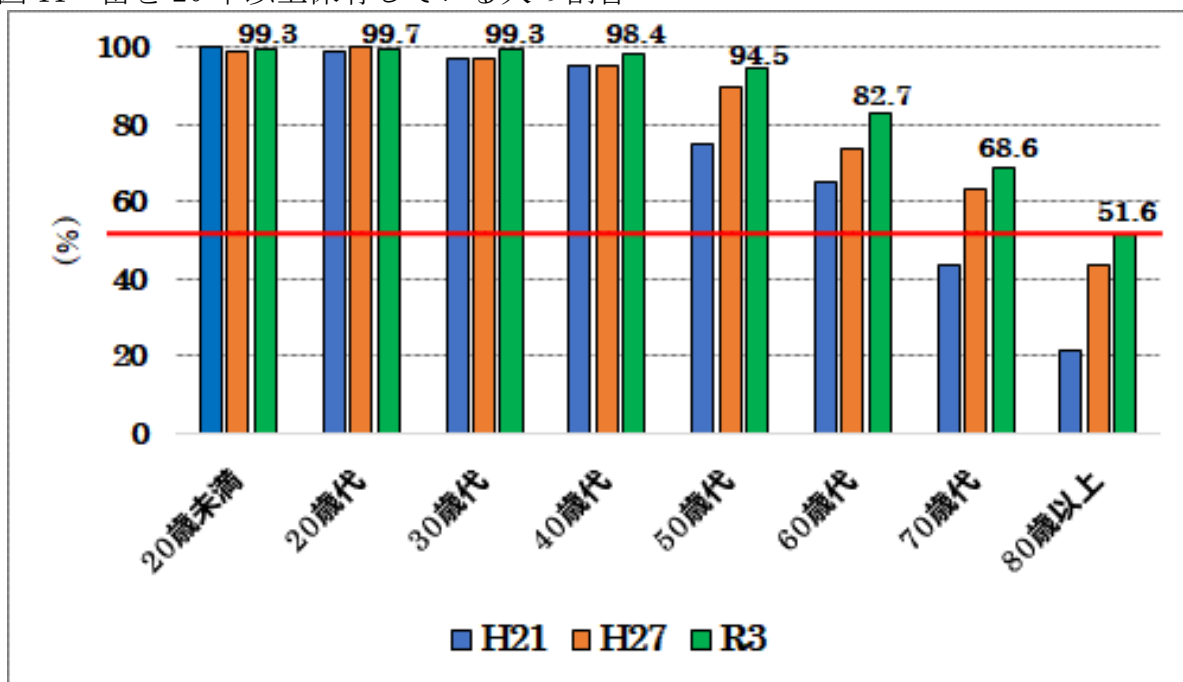


出典：市町村歯科健康診査（検診）実績報告

(2) 歯の喪失の状況

令和3年度の歯を20本以上保有している人の割合は、60歳代までは80%程度であるものの、60歳代以降減少し、80歳以上では51.6%となっています。

図11 歯を20本以上保有している人の割合



出典：千葉県生活習慣に関するアンケート調査

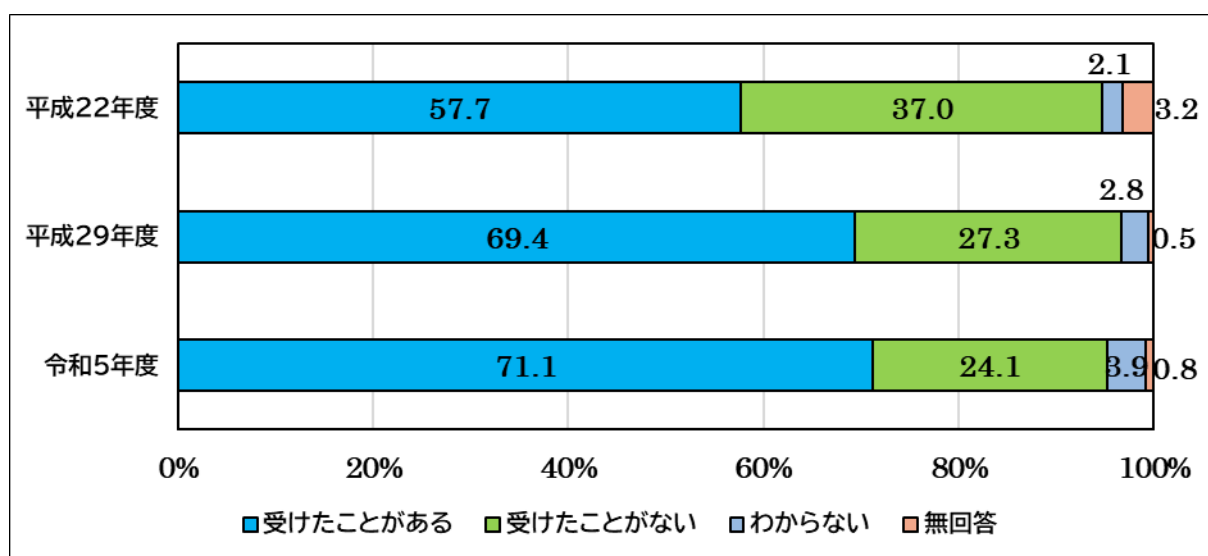
第3節 歯・口腔保健意識状況

1 乳幼児

3歳児でフッ化物歯面塗布⁵⁾を受けたことがある人の割合は、平成29年度から令和5年度にかけて1.7ポイント増加しました。

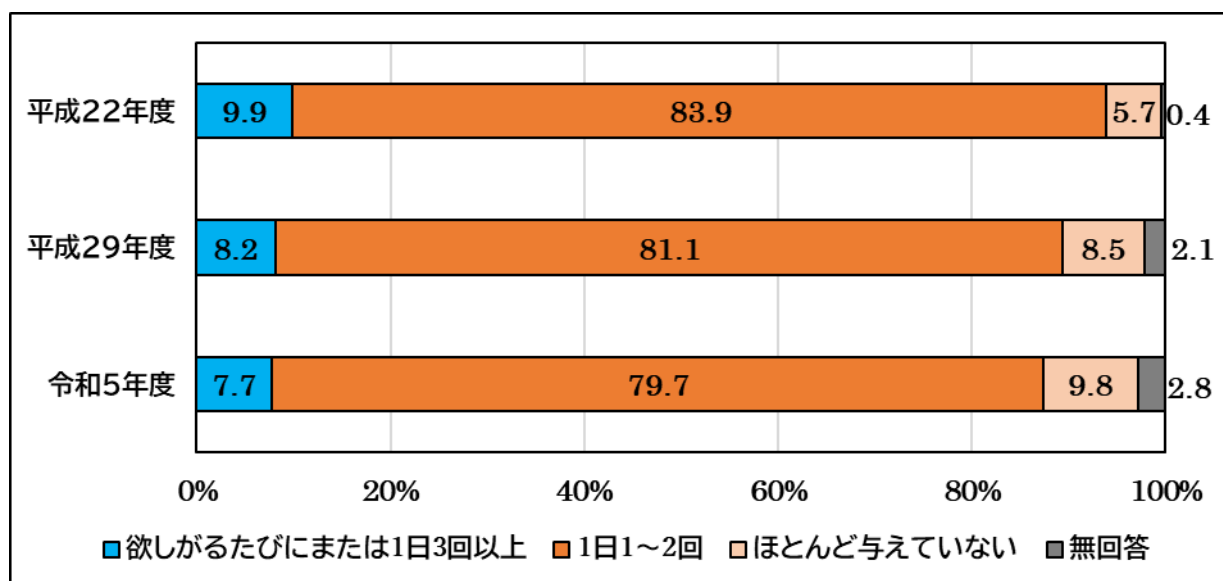
1歳6か月児の間食の摂取状況は、「欲しがるたびにまたは1日3回以上」である人の割合が平成29年度から令和5年度にかけて0.5ポイント減少しました。保護者が仕上げ磨きをする習慣状況は、「している」の割合が平成29年度から令和5年度にかけて、0.3ポイント減少しました。

図12 3歳児のフッ化物歯面塗布の状況



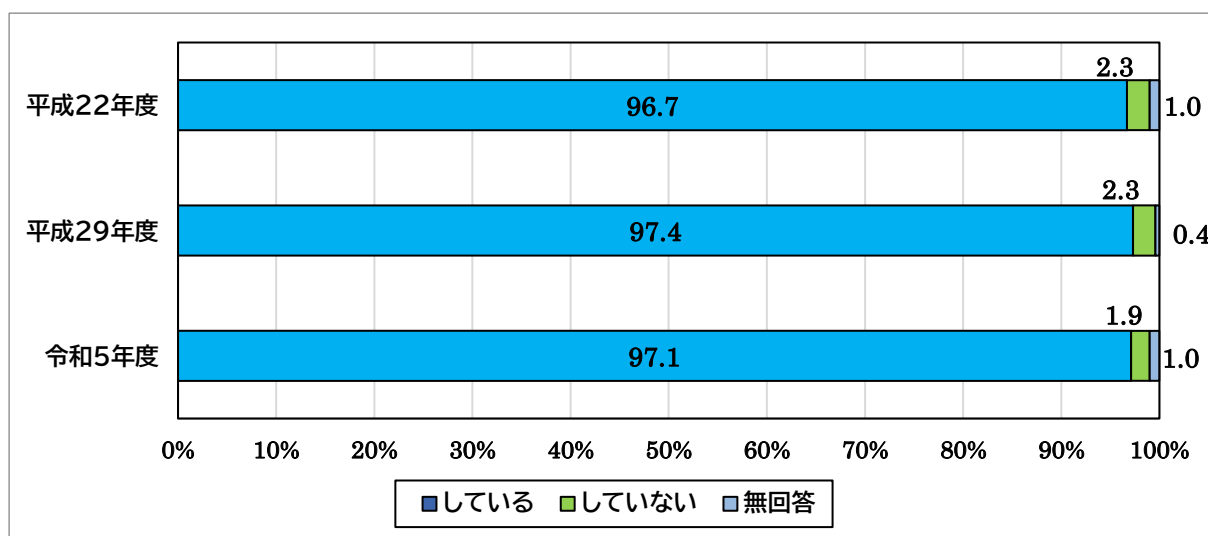
出典：千葉県歯科保健実態調査

図13 1歳6か月児の間食の摂取状況



出典：千葉県歯科保健実態調査

図 14 1歳6か月児の保護者が仕上げ磨きをする習慣状況



出典：千葉県歯科保健実態調査

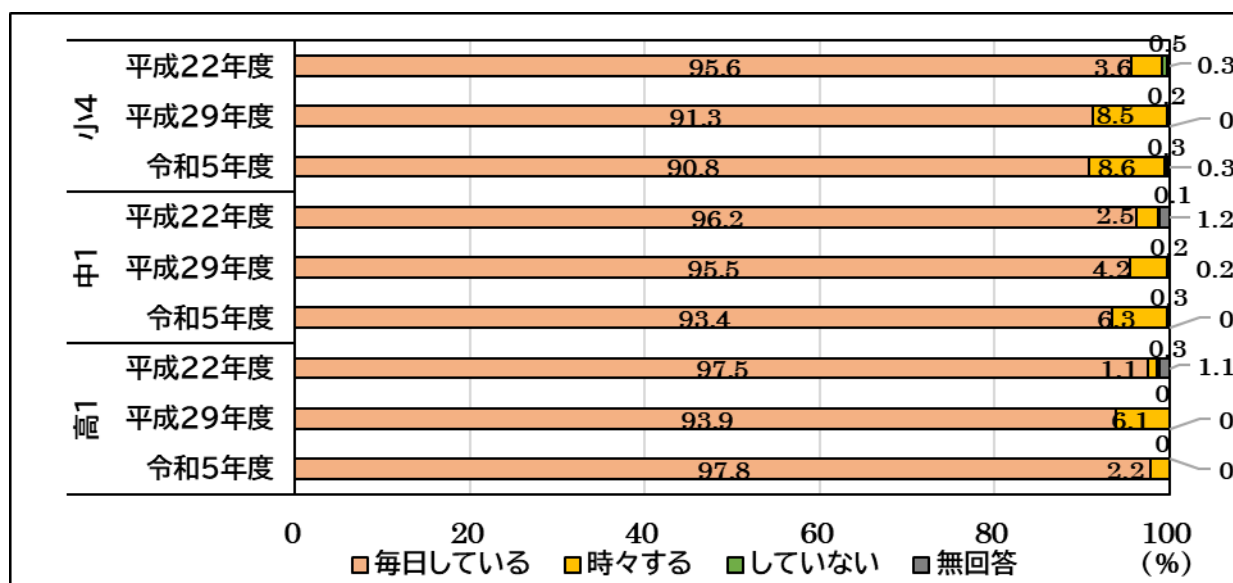
2 児童生徒

歯みがきを毎日している児童生徒の割合は9割以上で、「朝食後」と「夜寝る前」の実施率が高くなっています。

自分の歯や歯肉の状態を観察する習慣がある児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて減少する傾向があります。

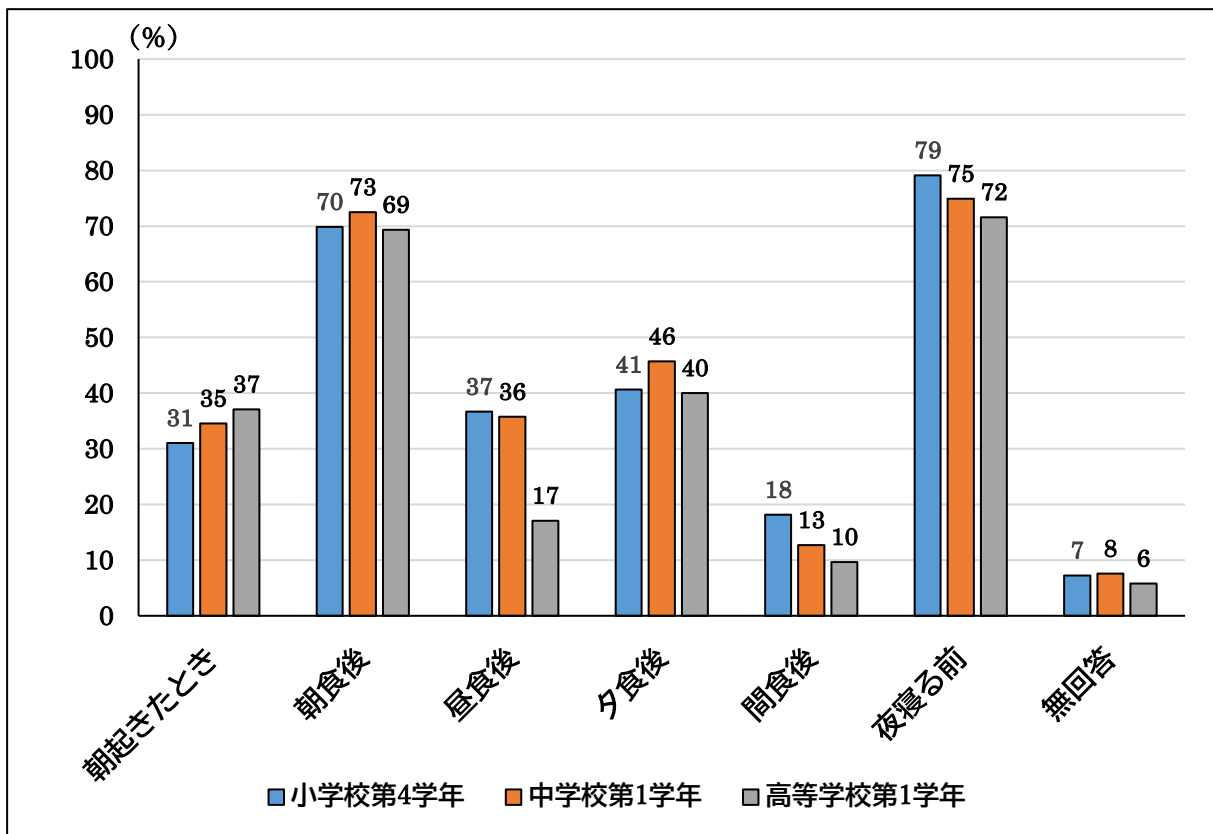
歯間部清掃用器具⁶⁾を使う生徒の割合は、平成29年度から令和5年度にかけて、やや増加しました。

図 15 歯みがきの状況



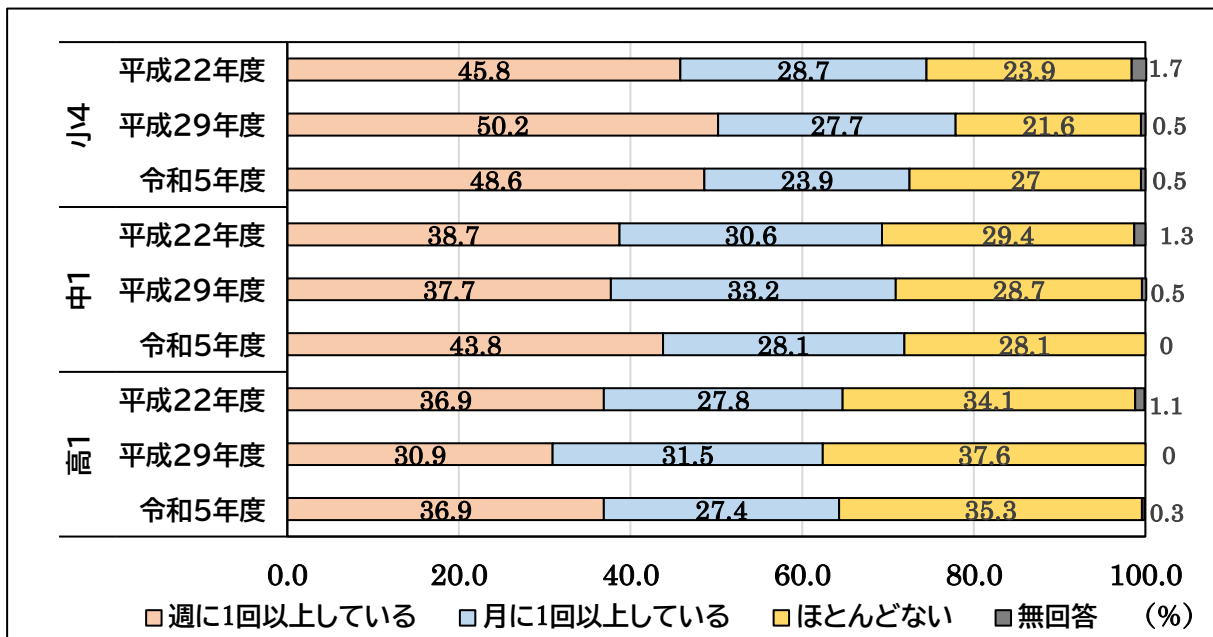
出典：千葉県歯科保健実態調査

図 16 歯みがきをしている時間帯（「毎日している」を選んだ人のみ）



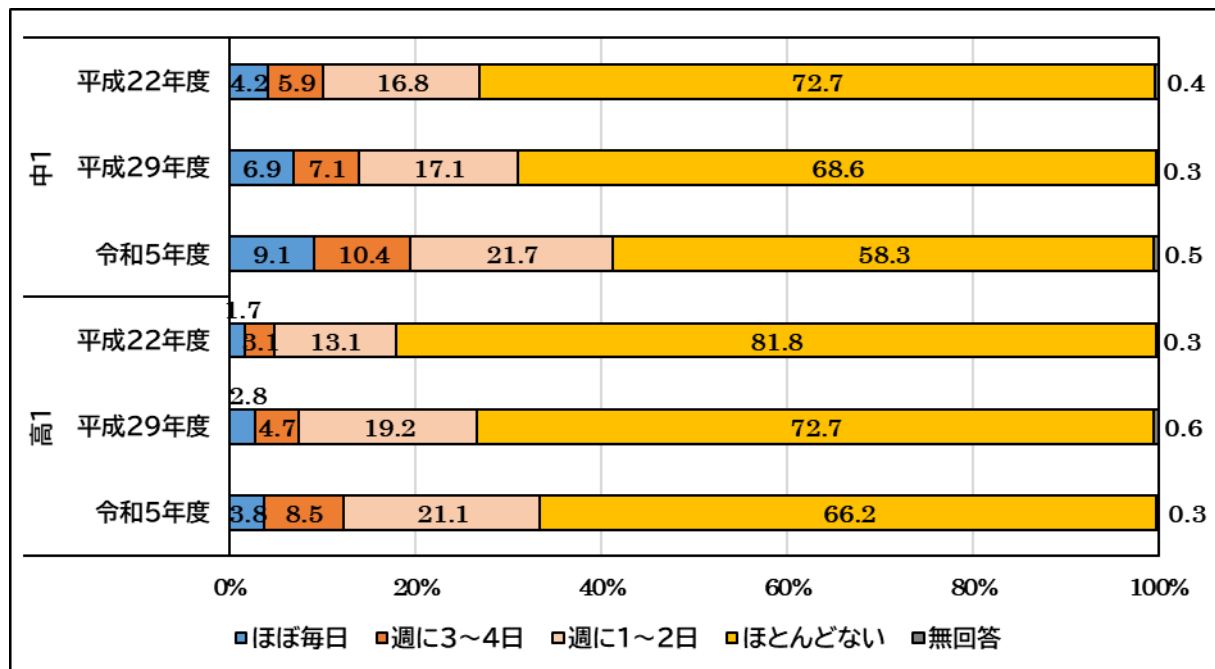
出典：令和5年度千葉県歯科保健実態調査

図 17 自分の歯や歯肉の状態を観察する習慣状況



出典：千葉県歯科保健実態調査

図 18 歯間部清掃用器具（デンタルフロス等）の使用状況



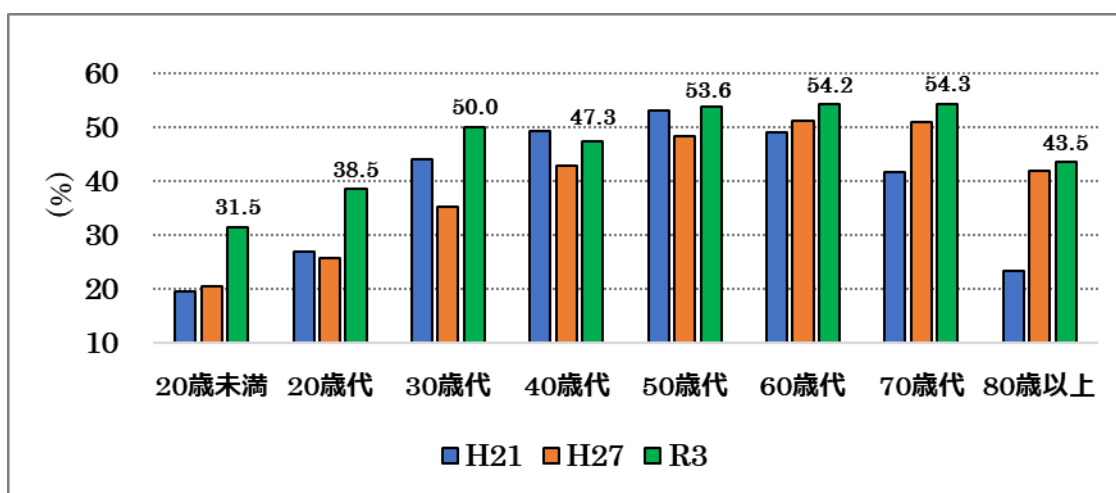
出典：千葉県歯科保健実態調査

3 成人及び高齢者

(1) 歯ブラシ以外の器具の使用状況

令和3年度生活習慣に関するアンケート調査において、「歯ブラシ以外の器具を使って、歯や歯のすき間の手入れをしている」と回答した人は、年齢階級別にみると、令和3年度は20歳未満、20歳代、40歳代、80歳以上で50%に満たない状況でした。

図19 歯ブラシ以外の器具を使って歯や歯のすき間の手入れをしている人の割合

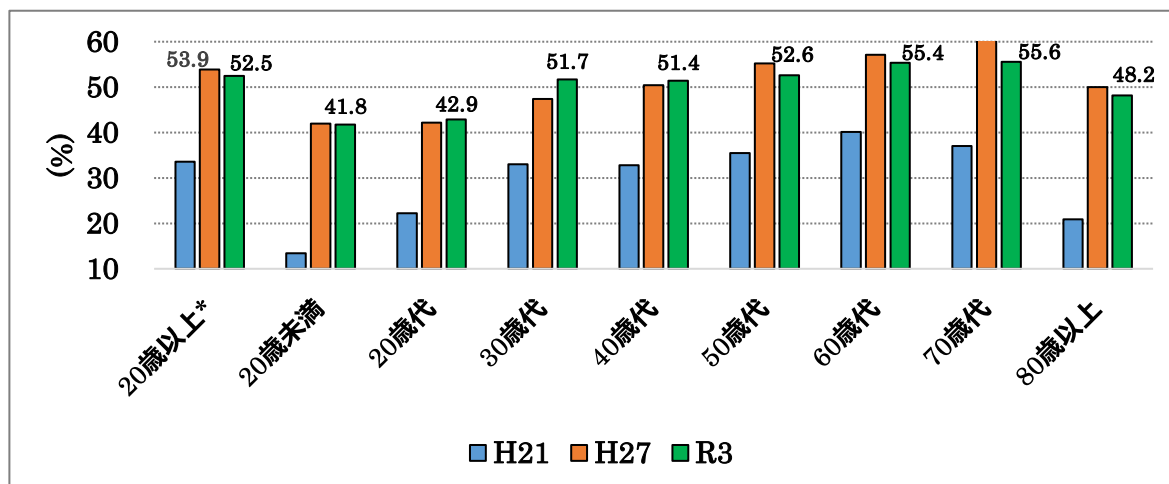


出典：「生活習慣に関するアンケート調査」（千葉県）

(2) 歯石²⁾除去や歯面清掃の状況

令和3年度生活習慣に関するアンケート調査において、「定期的に歯石²⁾除去や歯面清掃を受けている」と回答した20歳以上の人は、平成27年度は53.9%でしたが、令和3年度は52.5%と僅かに減少しました。

図20 定期的な歯石除去や歯面清掃の状況

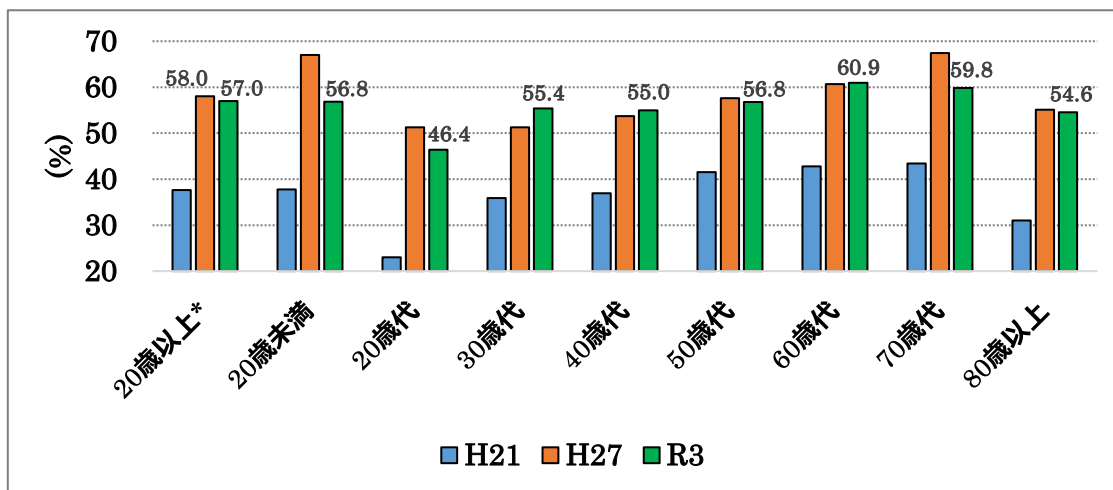


出典：「生活習慣に関するアンケート調査」（千葉県）

(3) 歯の健康診査の受診の状況

令和3年度生活習慣に関するアンケート調査において、「定期的に歯の健康診査を受けている」と回答した20歳以上の人は、平成27年度は58.0%でしたが、令和3年度は57.0%と僅かに減少しました。

図21 定期的に歯の健康診査を受けている人の割合

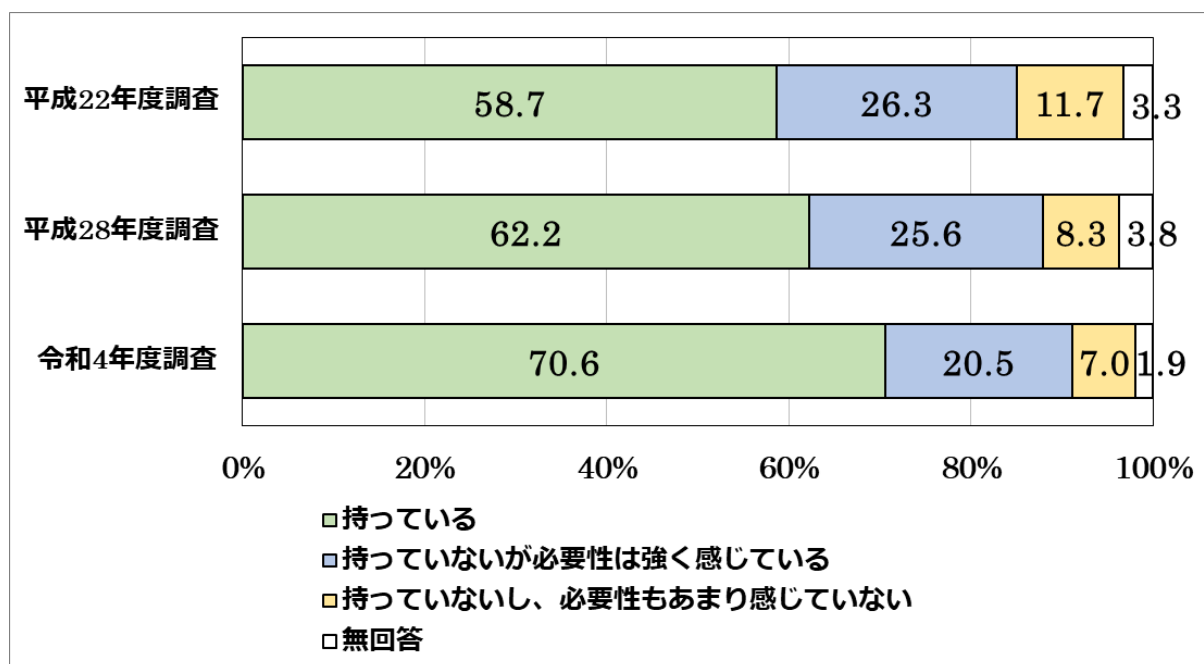


出典：「生活習慣に関するアンケート調査」(千葉県)

(4) かかりつけ歯科医の有無

かかりつけ歯科医を持っている人の割合は増加傾向にあり、県政に関する世論調査によれば、「かかりつけ歯科医を持っている」と回答した人は70.6%でした。

図22 かかりつけ歯科医の有無



出典：県政に関する世論調査(千葉県)

4 フッ化物洗口の実施状況

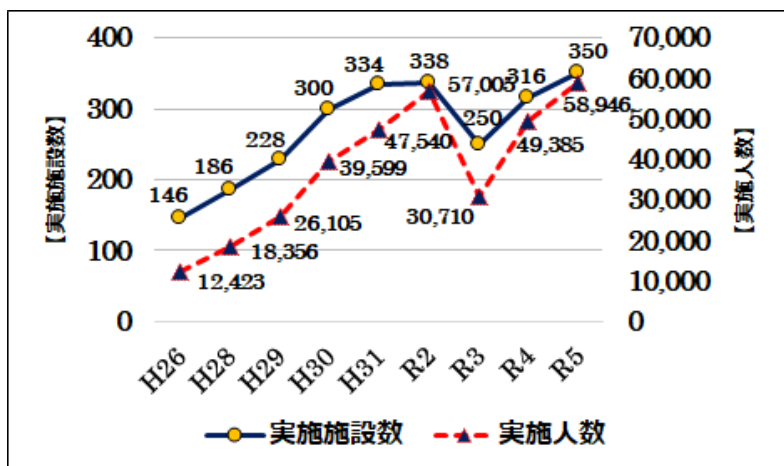
令和5年3月現在、23市町村内の350施設でフッ化物洗口⁷⁾を実施していました。実施施設数及び人数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したものの年々増加しています。

表1 市町村別フッ化物洗口実施施設数及び人数（令和5年3月現在）

	市町村名	実施施設数						実施人数							
		保育所	こども園認定園	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校等	計	保育所	こども園認定園	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校等	計
1	習志野市	0	0	0	7	3	0	10	0	0	0	2,546	1,125	0	3,671
2	鎌ヶ谷市	11	1	6	9	5	0	32	448	76	635	5,163	55	0	6,377
3	松戸市	44	4	9	2	0	0	59	1958	186	592	287	0	0	3,023
4	流山市	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	270	270
5	我孫子市	12	4	0	2	0	0	18	219	116	0	440	0	0	775
6	成田市	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	420	0	0	420
7	香取市	0	0	1	7	0	0	8	0	0	18	1,350	0	0	1,368
8	多古町	0	1	0	0	0	0	1	0	70	0	0	0	0	70
9	匝瑳市	1	0	0	3	0	0	4	16	0	0	315	0	0	331
10	山武市	2	5	1	1	0	0	9	72	300	62	142	0	0	576
11	大網白里市	4	0	1	0	0	0	5	146	0	179	0	0	0	325
12	茂原市	7	1	1	12	0	0	21	170	72	15	3,159	0	0	3,416
13	一宮町	2	2	0	0	0	0	4	34	49	0	0	0	0	83
14	陸沢町	0	1	0	0	1	0	2	0	34	0	0	144	0	178
15	長生村	0	3	0	3	1	0	7	0	67	0	496	296	0	859
16	白子町	3	0	0	3	0	0	6	51	0	0	408	0	0	459
17	長南町	1	0	1	0	0	0	2	31	0	25	0	0	0	56
18	鴨川市	0	7	0	7	3	0	17	0	348	0	1,123	634	0	2,105
19	木更津市	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	325	214	0	539
20	君津市	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	555	0	0	555
21	市原市	15	9	14	41	22	0	101	538	640	817	12,107	6,071	0	20,173
22	千葉市	0	4	3	1	0	0	8	0	216	171	198	0	0	585
23	船橋市	0	0	0	26	0	0	26	0	0	0	12,732	0	0	12,732
	計	102	42	37	130	38	1	350	3,683	2,174	2,514	41,766	8,539	270	58,946
	実施率	※赤字は100%実施						12.6%	※赤字は100%実施						10.2%

出典：千葉県健康福祉部健康づくり支援課調査（令和5年3月）

図23 フッ化物洗口実施施設数及び人数の年次推移



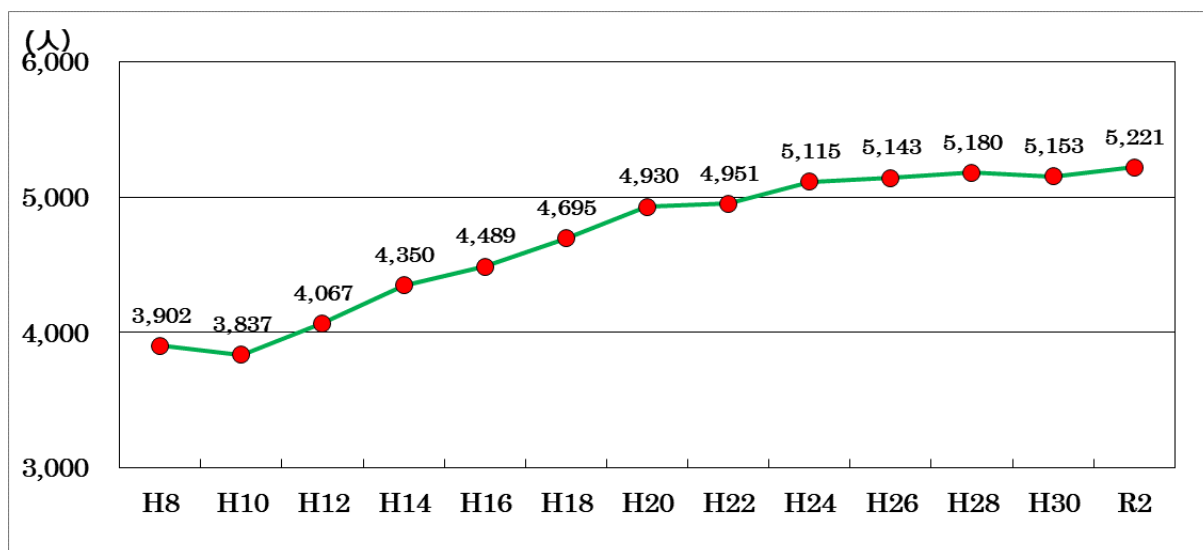
第4節 保健医療従事者等の状況

1 歯科医師

県内の歯科医師数は、増加傾向にあります。

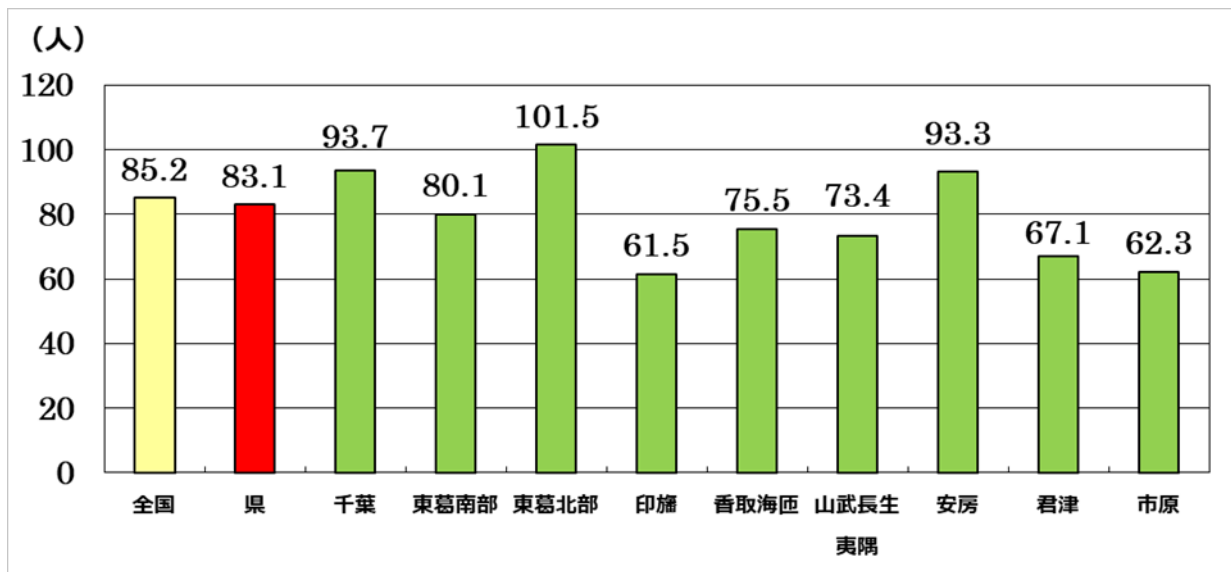
令和2年末現在、人口10万対歯科医師数を二次保健医療圏別にみると、東葛北部保健医療圏が101.5人と最も多く、印旛保健医療圏が61.5人と最も少ない状況でした。

図23 千葉県の歯科医師数（従事地）の年次推移



出典：厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師統計の概況

図24 二次保健医療圏別人口10万対歯科医師数



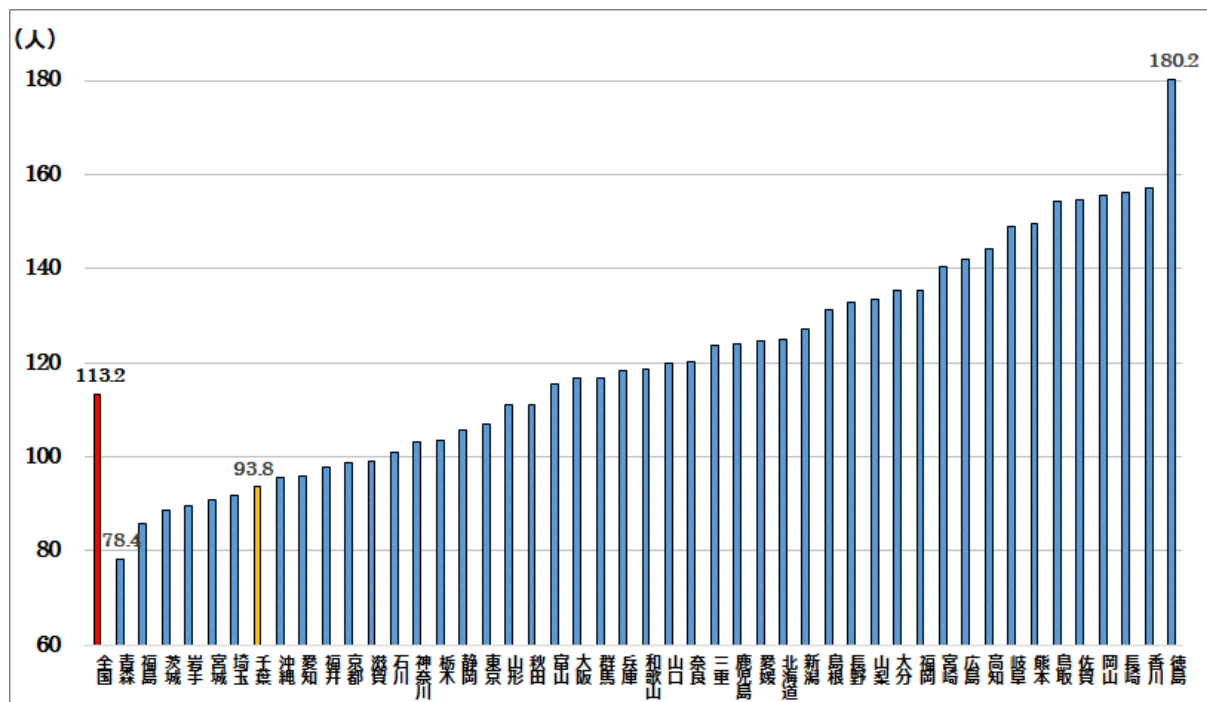
出典：厚生労働省 令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況

2 歯科衛生士

県内の就業歯科衛生士数は、年々増加しています。しかし、都道府県別人口10万対の就業歯科衛生士数は、千葉県は93.8人と、全国平均の113.2人と比較して少ない状況でした。

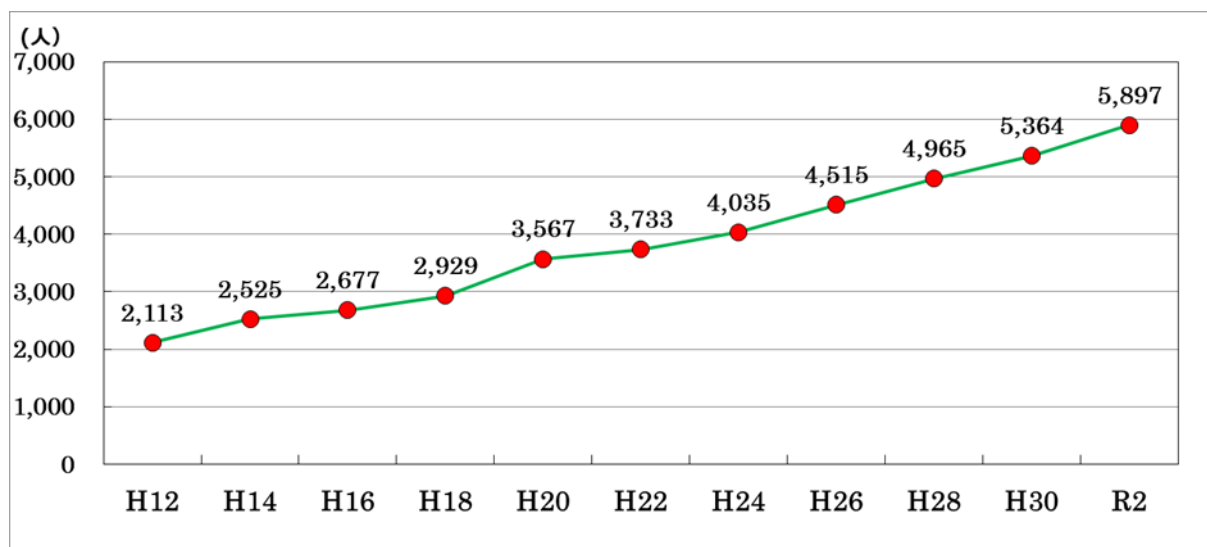
市町村に勤務する歯科衛生士は36市町106名（令和5年4月1日現在）で、約67%の市町に歯科衛生士が配置されており、全国的にも高い配置率となっています。

図 25 都道府県別人口10万対就業歯科衛生士数



出典：令和2年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況

図 26 千葉県の就業歯科衛生士数の年次推移

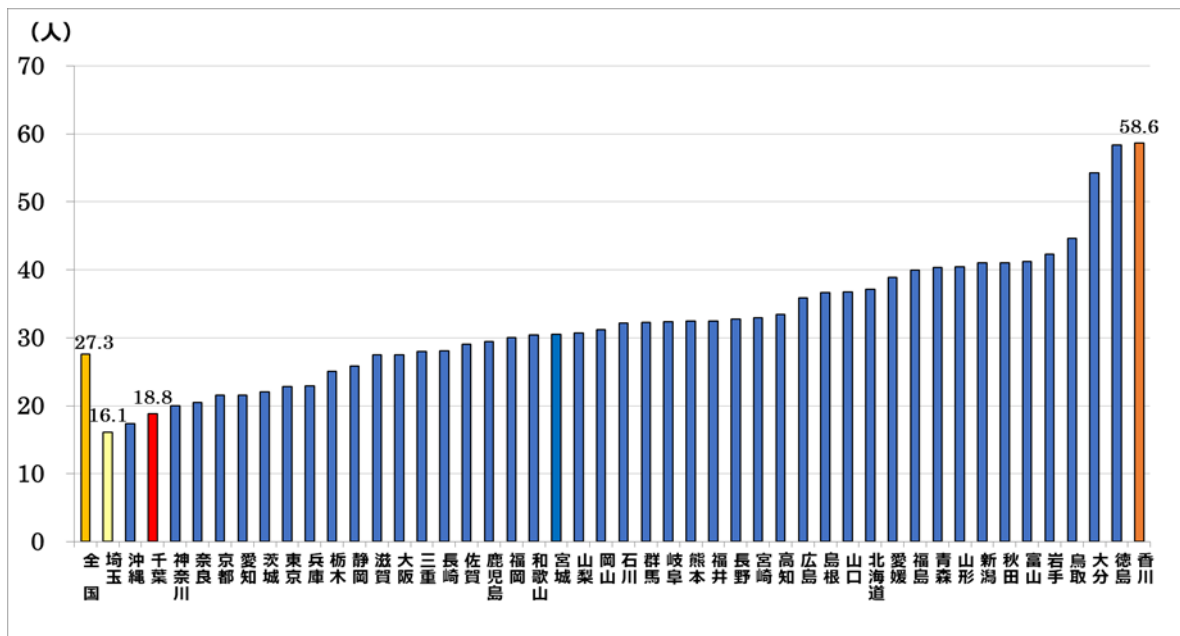


出典：衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況

3 歯科技工士

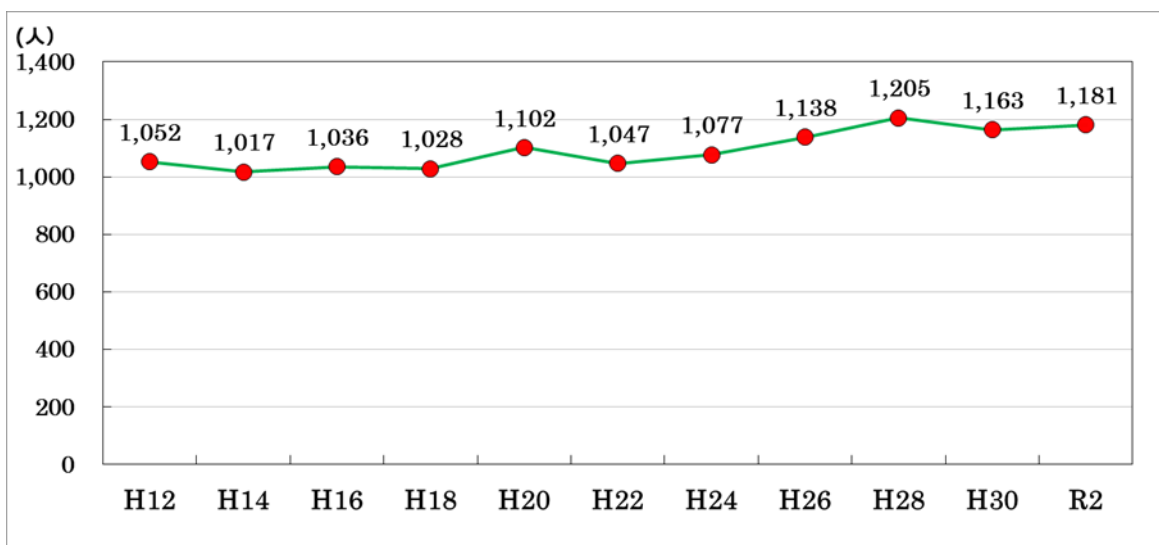
県内の就業歯科技工士数の年次推移は、近年横ばいとなっています。都道府県別人口10万対の就業歯科技工士数は、千葉県は18.8人と、全国平均の27.3人と比較して少ない状況でした。

図 27 都道府県別人口10万対就業歯科技工士数



出典：令和2年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況

図 28 千葉県の就業歯科技工士数の年次推移



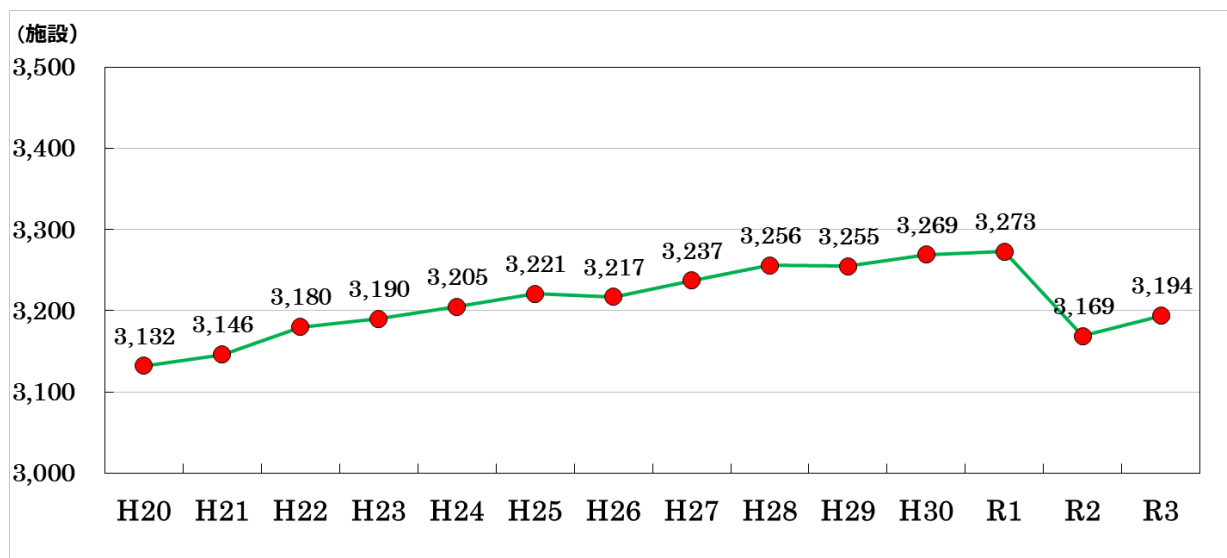
出典：衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況

第5節 保健医療施設等の状況

1 歯科診療所

県内の歯科診療所数の年次推移は、近年横ばいとなっていました。令和2年度は前年に比べ104施設減少したものの、令和3年度は3,194施設で前年に比べ25施設増加しています。

図29 千葉県の歯科診療所数の年次推移

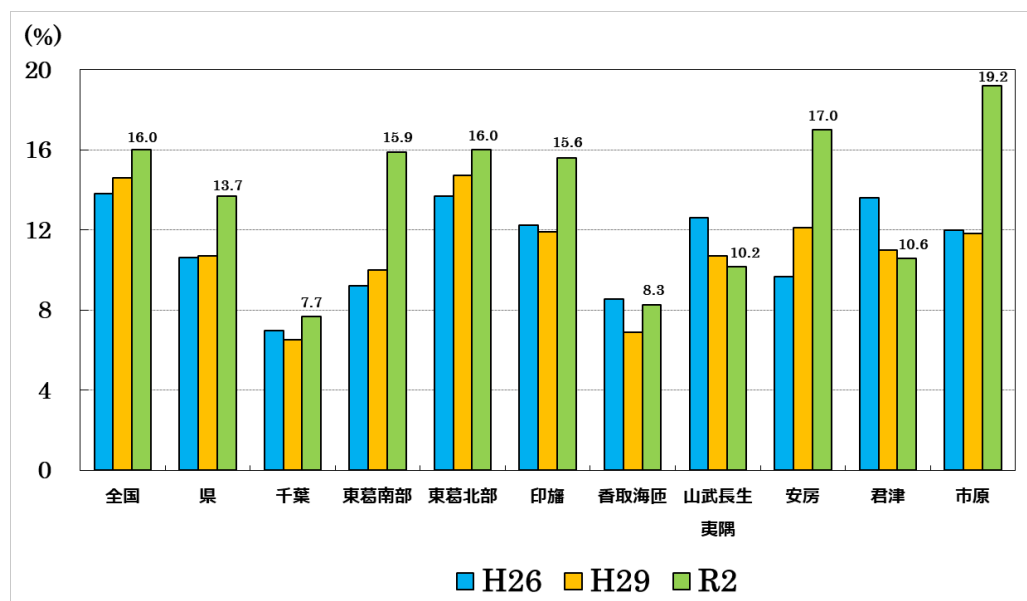


出典：医療施設調査・病院報告の概況

2 訪問診療（居宅）を行っている歯科診療所

歯科診療所のうち、訪問診療（居宅）を行っている歯科診療所は、全国の16.0%に対して、千葉県は13.7%と低い状況にあります。

図30 訪問診療（居宅）を行っている歯科診療所の割合



出典：令和2年医療施設静態調査（確定数）・病院報告の概況

第6節 災害時等における歯・口腔の保健医療サービスの提供

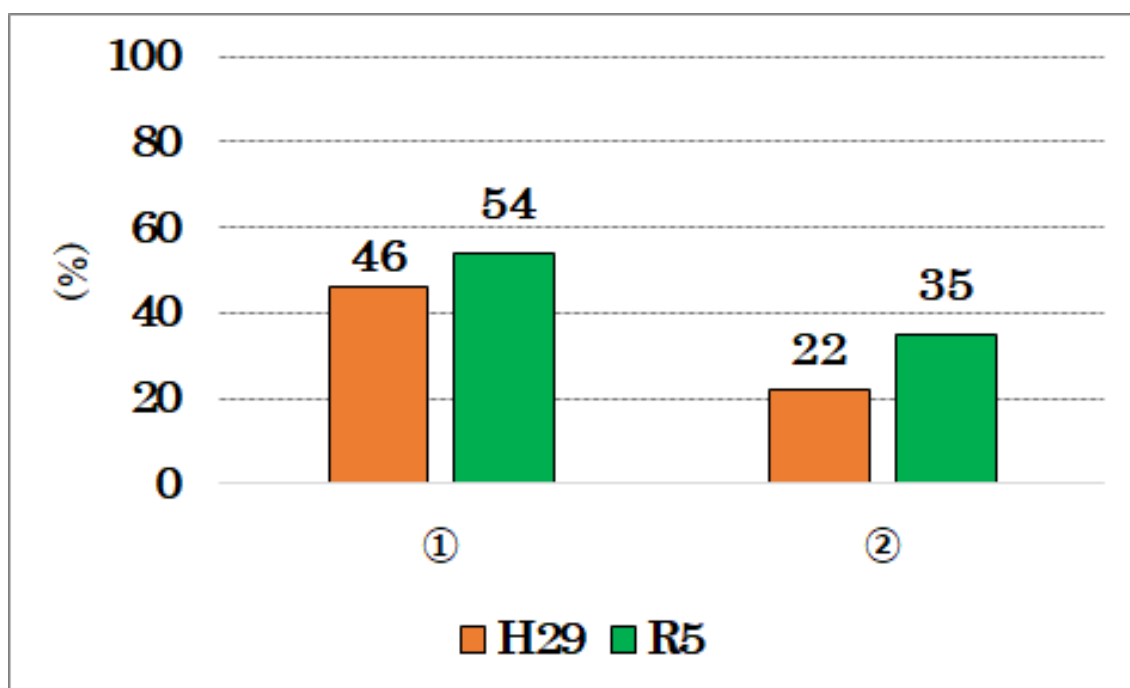
大規模災害による避難所での生活は、疲労やストレス等から免疫力が低下し、加えて水不足により歯みがきや義歯の手入れが困難になり、口腔内の不衛生による誤嚥性肺炎⁸⁾の危険性が高くなります。

また、義歯の紛失等により、食生活に支障をきたすことがあります。

令和5年10月の調査では、「市町村で防災計画等に歯科関連項目の記載がある」と回答した市町村は、54%であり、平成29年の46%と比較し、8ポイント増加し、「市町村で防災マニュアル等の非常持出品に、口腔関連物品の記載がある」と回答した市町村は、35%であり、平成29年の22%と比較し、13ポイント増加しました。

新型コロナウイルス感染症などの感染症等も含め、緊急事態への対応を想定して体制構築をする必要があります。

図31 ①防災計画等における歯科関連項目の記載（54市町村の状況）
②防災マニュアル等の非常持出品に口腔関連物品の記載（54市町村の状況）



出典：千葉県健康福祉部健康づくり支援課調査（令和5年10月）